

## 平成 30 年度 第 1 回志摩市地域公共交通会議（全体会）

と き 平成 30 年 5 月 18 日（金） 14：40～16：00

ところ 志摩市役所 401 会議室

### 【出席委員】

志摩市 副市長	小山崎 幸夫
名古屋大学 教授	加藤 博和
三重交通株式会社 志摩営業所 所長	中垣内 敬二
三重県タクシー協会 志摩支部 支部長	板谷 四郎
志摩市自治会連合会 会長	柴原 宏啓
志摩市自治会連合会 副会長	松井 源紀
志摩市老人クラブ連合会 会長	村瀬 有宏
志摩市 P T A 連合会 代表	東川 泰仁
志摩市身体障がい者福祉会 会長	森 和夫
三重運輸支局 首席運輸企画専門官	伊藤 繁明
鳥羽警察署 交通課 課長	前田 正樹
三重県 地域連携部 交通政策課 課長	吉川 行洋
間崎自治会 会長	岩城 正幸
間崎老人会 会長	野村 儀次
間崎婦人会 会長	山本 くに枝
（代理出席） 三重県南部地域活性化推進課 班長	鈴木 一司
中部運輸局 三重運輸支局 鳥羽海事事務所 所長	山崎 博章
志摩マリンレジャー株式会社 取締役社長	喜多 勇司

### 【欠席委員】

志摩市自治会連合会 副会長	亀井 正法
志摩市観光協会 会長	西尾 新
志摩市 建設部 部長	森本 浩
志摩市 政策推進部 部長	三橋 哲雄
志摩市商工会 会長	坂下 啓登
三交伊勢志摩交通労働組合 書記長	小磯 豊
志摩建設事務所 道路課 課長	西本 裕一

## 1.あいさつ

**市長**

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。今年度策定予定である、志摩市地域公共交通網形成計画がより良いものとなりますよう、ご意見をよろしくお願いたします。  
～公務のため市長退席～

**事務局**

今年度初めての会議ということもあり、簡単にごあいさつをお願いします。

(各委員あいさつ)

ありがとうございました。進行を会長に引き継ぎます。

**会長**

それでは議事に移りたいと思います。

## 2.議事

(1) 志摩市地域公共交通網形成計画策定の進め方について

**事務局**

資料1第1回志摩市地域公共交通会議資料(1)志摩市地域公共交通網形成計画の進め方についてに基づき説明。

**A委員**

資料1の説明の前に、資料2を説明いただきこの会議の趣旨などを説明していただかないといけない。

本日の出席率が低いですが、この会議を軽視していないか。皆さんお忙しいので、偉い人が出られないのはしょうがない。代理での出席でも構わない。

資料2については、本日ご出席いただいている中部運輸局さんが作ったものであるので、説明をお願いしたい。

**中部運輸局 三重運輸支局 首席運輸企画専門官 伊藤 委員**

資料2に基づき説明。

**会長**

本来ならば事務局が説明しなければならぬところではありますが、ご説明いただき、ありがとうございます。

**C委員**

障がい者の方の視点から発言させていただきます。

公共交通機関で移動するにも、障がい者からすると同行支援がないと非常に厳しい現状であります。路線バスの運転手さんはとても親切に手助けをしていただいております。さらに県立志摩病院へ行くと、ボランティアの方が手助けをしてくれる。

**事務局**

各交通事業者との連携を密にしていきたい。

**A 委員**

本日は（１）から（６）までの議題がありますので、議題に沿った発言をいただくと効果的ではないかと考えます。事前に意見がある場合は、書面で事務局へ送付いただくと議題にしてもらえます。そうすると、他の委員の皆様のご意見ももらえます。

注意していただきたいのは、本会議で決まったことは実行されるということです。意見を言ったら行動しなければならないという責任が生じます。

**C 委員**

障がい者がなぜ利用しづらいかということに自治会、行政は触れていただけない。このことについて、福祉関係部署と老人クラブなどで懇談会を開催してほしい。

**会長**

この後の説明で、住民懇談会についての話もごさます。それで２つ目の議題について事務局より説明をお願いいたします。

（２）志摩市生活交通計画のレビューについて

**事務局**

資料１（２）志摩市生活交通計画のレビューについて、資料３に基づき説明。

**会長**

この件については、運行事業者さんとの連携という部分で課題などがあげられておりました。運行事業者さんからご意見はありますか。

**D 委員**

よく話題になるのが、鉄道とバスの乗り継ぎです。しかし、調整すると路線全体のバランスが崩れてしまう。ダイヤ変更なども、利用してくれるお客さんの要望を叶え、「変えてよかったね」と言われるダイヤを作っていくことが事業者の使命であると考えております。

**E 委員**

乗り継ぎ時間の縮小については、利用が増えるということであれば検討したい。

**会長**

生活交通計画について、事務局より紹介してもらいましたが、今後の説明をお願いします。

**事務局**

レビューについてですが、必ずしも地域公共交通網形成計画に入れるというわけではありません。参考にいただければと思っております。

**A 委員**

申し訳ないですが、今日の会議の脈絡がよくわからない。あえて好意的に解釈すると、新しい計画を作る際に今の計画の振り返りをしているということですね。しかし委員の皆様が知りたいことは、きちんと進捗しているかどうかだけです。ですので、はっきり言って今の事務局の説明は時間の無駄。できた、できなかったを × で示していただき、そこ

に理由をつけていただければよい。このレビューシートは全然できていないと感じる。

行政は事業を行ったか、できなかったかだけで評価するだけでやってよかったというところまで、評価しない。そこまで考えてほしい。

事務局

レビューシートの作りこみについては申し訳ございませんでした。

A委員

私はこれからどうなったらよくなっていくかをお話ししているので、次回はこうやっていきますという返答がほしい。

会長

事務局はレビューシートの作りこみについては、解決してください。

A委員

三重県の中でも本計画を作っただけで、放ってあるものが沢山あります。誰も見ない計画をつくっても仕方ない。この会議では計画をこのように作って、このように見直しをしていこうということを是非やってほしい。

会長

事務局はレビューシートの作りこみも含め、修正をお願いします。

それでは次の議題に移りたいと思います。

### (3) 志摩市ニーズ調査の実施・分析手法について

事務局

資料1(3) 志摩市ニーズ調査の実施・分析手法についてに基づき説明。

A委員

アンケート調査の回収結果が42.8%程度ある。志摩市のその他アンケートより高いか低いかわかりますか。

事務局

おおよそ、その他のアンケートの回収率は3割程度であると思っております。今回のアンケートに関しては回収率は高いです。

A委員

そこが重要な点で、全国的に見てもアンケートの回収率は3割程度である。ところが公共交通に関するアンケートは通常より高い傾向にある。高いところは5割を超えるところがあるので、志摩市は関心はそこそこあるが高くはない。現在の状況などを見ると、もっと高くないといけない。

会長

ありがとうございます。次の議題に移りたいと思います。

### (4) 住民懇談会の実施について

**事務局**

資料1(4) 住民懇談会の実施についてに基づき説明。

**F 委員**

地区別の懇談会はとてもありがたい。浜島地区に住んでおりますが、プリンスという料理屋の前に学生がバスに乗るために駐輪している。よく自転車が倒れていて危険である。これについて以前から改善の要望を出しているが、おざなりになっています。住民懇談会ではこのような現状も含め、意見を収集していただき、取り組んでほしい。

**会長**

住民懇談会の開催については自治会さんの協力が必要になりますので、事務局はあまり負担にならないようお願いします。

**A 委員**

住民懇談会で必要なことは、事前に各自治会さんから課題をもらうということ。もちろんそれが実現したら、利用していただけるという前提で。さらに出席者の半分以上が公共交通を利用しているという方が望ましい。それが難しい場合は、利用している人の意見を聞いておいてもらうなどをしてほしい。もちろん、利用しない人の意見も重要。あとは開催日程が重要で、老若男女すべての世代の参加が望ましく、特に高校生は参加してもらいと良い。

**G 委員**

住民懇談会の際に何でもよいので話してくださいというと、なにを言っているかわからないし、收拾がつかなくなる。

私は高齢者ですので、免許返納を考えているのですが返納した際に公共交通がなかったら、生活ができない。朝晩は高校生がバスを利用しているのですが、昼間は空箱状態である。フリー乗降制にすれば良いと思います。停留所の増設も一つの案であります。

**C 委員**

交通施策について自治会長さんに要望し、それを自治会長さんに市政懇談会に挙げてもらっています。このような発言の機会に発言したことを、効果的にまとめられるようにして行ってほしい。

**A 委員**

住民懇談会では、高齢者は高齢者の意見、高校生は高校生の意見としていただき、個人的な意見は避けてもらいたい。2時間の設定として、議題は多くても4つくらいが限界かなと思っています。1つなら1つでも構わない。

**会長**

事務局はせっかくの機会ですので、有意義な懇談会にしていきたい。

**A 委員**

フリー乗降制について話が出ましたが、志島循環線ももとはフリー乗降制でした。しかし、運転手は困る。しかし、停留所でとまるところは固定化してきます。それよりもど

ここに停留所をおくかなどを地域でよく考えてもらった方が良い。

会長

かなりたくさんのお意見をいただきました。それでは次の議題に移ります。

(5) 策定スケジュールについて

事務局

資料1(5) 策定スケジュールについてに基づき説明。

会長

事務局案ということで説明いただきました。本日は第1回ということで、第2回、3回と展開していくことが必要です。

事務局

補足ですが、地域公共交通会議には陸上交通、離島航路幹事会がございます。

C委員

重点施策の中に、移動手段の確保ということで挙がっておりますので、地域福祉課との連携や福祉計画との関連も含め、今後ご検討いただきたい。

事務局

その他事項についても、ご質問等ありましたら承ります。

A委員

生活交通計画は紀北町と同時期に策定しましたが、紀北町は三重県で2番目に地域公共交通網形成計画を策定しています。これだけ差ができてしまった。

観光関係、福祉関係ともに交通に関して、志摩市には課題がある。自由に移動ができないという理由で人口を減らしてはいけない。本計画をつくり、行動して良かったよねとなり、志摩市に住んで良かった、来て良かったということにつなげるために本日の会議がスタートになれば、非常に有意義な会議であったと思います。

委員の皆様は、本日の会議の内容を持ち帰っていただきまして、それから事務局にどんどん相談していけば良い。私も、松阪、伊勢などの委員もしておりますので連携できる部分などがあれば相談させていただきたいと思います。

会長

ありがとうございました。私も含め事務局もこの会議の目的や方向性を確認させていただきました。そのようなことも含め、改めて検討し次回の会議でもんでいければと思っております。本日はご協議いただき、ありがとうございました。